

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 950 号	氏名	福井 翔一
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	迎 寛	
	副 査	青柳 潔	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は抗好中球細胞質抗体（Antineutrophilic cytoplasmic antibody：ANCA）関連血管炎の臨床的特徴ならびに生命予後と低補体血症の関連を検討しており、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ANCA 関連血管炎患者 81 名を対象とし、診断時に低補体血症を認めた 16 名と認めなかった 65 名について、その臨床病理学的特徴、検査所見、生命予後を統計学的に比較検討しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 低補体血症を伴う ANCA 関連血管炎患者は低補体血症のない患者と比較して、びまん性肺胞出血、血栓性微小血管症、皮膚病変が有意に多く、検査所見では血小板値が有意に低く、腎組織への免疫複合体の沈着が有意に多かった。加えて、生存率も有意に不良であった。これらの所見は、診断時の低補体血症が ANCA 関連血管炎の臨床像や予後に関連することを示唆しており、本研究の意義は極めて高いと考える。</p>			
<p>以上のように本論文は、ANCA 関連血管炎の病態解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			